

事務事業 No./名 称	■サービス部門 こども-09 児童福祉運営事業											
	□支 援 部 門											
主管課	保育課				関連課 こどもみらい課・こども相談課							
分野名	健康福祉											
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行う。 待機児童0人											
人口等の データ	データ区分	24年度			23年度			22年度			備考 ・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年4月1日現在 公立+私立入所児童数	
	人 口	177,224人			177,204人			177,161人				
	世 帯 数	79,669世帯			79,217世帯			78,812世帯				
	事業の対象者数	2,037人			1,995人			1,787人				
運営資源 状 況	決算値(千円)	9,104			9,187			8,187				
	(国・県)											
	(負担金等)	5,678			5,550							
	(一般財源)	3,426			3,637			8,187				
	人員配置数	0.1人			0.1人			0.1人				
	人件費(千円)	812			871			869				
	協 働 の パートナー											
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)			9,916			10,058				9,056
	市民1人当 りの経費(円)			56			57			51		
	対象者1人 当りの経費(円)			4,868			5,042			5,068		
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒											
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)					
鎌倉市保育会及び保育士会補助 金の削減	◎	目標値	68,000円	64,600円	61,200円	58,140円	58,000円					
実績値		68,000円	64,600円	61,200円	58,000円							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退												

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
児童福祉運営事業	9,104千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	児童福祉運営事業の円滑な執行を図るため、保健衛生担当嘱託員や事務嘱託員の報酬の支払い、保育士会や保育会への補助を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	保育団体への補助については、研修会を開催するなど職員の資質の向上が図られるとともに保育の向上にも努めており、その必要性は認めるものの補助等のあり方の検討が必要であるとの判断から削減を進めてきたが、引き続きそのあり方について、検討が必要と考えている。		
課題解決のための取組	補助金については、段階的に減額を行っており、平成24年度の目標は達成した。今後、県の補助との整合性を図りつつ、補助のあり方について見直しを進めていく。なお、事業の対象者数については、これまで各年3月1日現在でとらえていたが、平成24年度から、4月1日現在でとらえるべく見直しを行った。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	保育会、保育士会への補助金の適正な額や仕組みについて、引き続き検討していく必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了		
		②妥当性	○			保育会・保育士会が行っている事業について、妥当な額になるまで、引き続き削減を進めていきたい。	課長等名	
		③有効性	○				B	保育課長 進藤 勝
		④公平性	○					

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
児童福祉運営事業	主な個別事業	60 保健衛生担当嘱託員報酬	4,579	4,049	○	○	○	○
		60 事務補助嘱託員報酬	4,113	4,113	○	○	○	○
		60 非常勤嘱託員等費用弁償	1,008	554	○	○	○	○
		60 農地謝礼等	174	151	○	○	○	○
		60 賠償責任保険	179	179	○	○	○	○
		60 鎌倉市保育会等補助金	58	58	△	△	△	△
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							